

令和2年12月16日

古賀市議会
議長 結城 弘明 様

文教厚生常任委員会
委員長 平木 尚子

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を、会議規則第110条の規定により報告します。

記

第88号議案 財産の取得について

古賀市立小中学校大型モニター等導入に伴い、一般競争入札により取得の相手方を定めたが、その者から取得するもの。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1. 大型モニター等の主な仕様は、本体幅149cm、高さ90cm、奥行き8.6cm、重量40kg、画面サイズ65型。車椅子に座ったままモニターの前で操作できる。解像度は4K。本体自体にWi-Fiを内蔵し、児童生徒用と教師用の端末を無線でつなぐことができる。主な機能は、写真や資料の瞬時拡大。映像やアニメーションなど動きのある学習資料の提示。画面への文字等の直接記入。モニター内への教材データの保存。小学1年生から中学3年生まで全教科において活用予定であり、視覚的に分かりやすく子どもの理解を深めることに使用。今後、デジタル化された教科書の内容をモニターに表示し、授業に活用する。
2. キャスター付スタンドは安定感があり、転倒防止に配慮している。液晶画面は強化ガラスで、安全面の対策が施されている。
3. 修理が必要になった場合、1年間のメーカー保証で対応。代替機等を使うなどして授業に支障が出ないようにする。
4. 万が一事故が起こった場合、性能に起因するものであればメーカーに補償を求め、使い方によるものであれば学校、市の方で対応していく。
5. 入札を予定していた業者の辞退について、仕様内容の質疑後、それに沿った物品の調達が困難になったことで辞退したとのこと。入札については一般競争入札とし、追加で登録申請ができるよう事前に登録のない業者にも配慮をした。

6. 小中学校合わせて 241 台配備。配備する教室は、全小中学校の通常学級、特別支援学級で、それぞれ 1 台配備予定。既に学校にある大型テレビ 6 台、電子黒板 1 台についても今後も活用する。
7. 購入単価については税別で、モニター本体 14 万 6,400 円、キャスター付スタンド 3 万円、搬入設置費用 2 万 3,000 円の合計 19 万 9,400 円。4 月から全ての学級での活用をめざしている。
8. 大型モニターの画面はホワイトボード代替りの利用、映像を映した上から書き込むことができる機能があり、子どもが活用し、発言の機会が増えたとの導入自治体からの声もあるとのこと。大型モニターはあくまで ICT を活用しながら本来の授業の目的を達成するための手段となる。
9. 本体は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象であり、リースではなく購入とした。更新については、計画的に行えるよう検討していくとのこと。
10. 7 月の臨時会で示された 228 台から今回 241 台と台数が増えたのは、学級数、特に特別支援学級数が大きく増える見込みが出てきたため。

【意見】

なし

【審査結果】

委員会は、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定した。